

『Mind Charging』

第 237 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 3 月 16 日

手越祐也の名言



人に批判されても、 自分で感じていないことには何も響かない。

日々の生活の中でも SNS などのインターネット上でも“批判”されることはあります。今回はポジティブなイメージの手越さんの言葉ですから、『心無い人の言葉で心を痛める人がいるけれど、その必要は全くない！』という悩める人への“エール”と受け止められる言葉です。今回の他に、彼の言葉で『誰かの悪口を言うのは勿論よくないけど、その噂をすぐ信じちゃう人も俺は好きになれない。』というものがあります。この“色眼鏡で見られる”ということが誹謗中傷に悩む人の一番苦しんでいる部分ではないでしょうか。『最初は気にしないようにして耐えられたけど・・・』という人も少なくないと思います。

今回の言葉を“屁理屈的”に捉えたと、『自分の非を認めない(気づかない)人のせいで迷惑を被ることもあるよ・・・』という意見が出てくると思いますが、答えが決まっていることではなく、批判に値するか否かの判断材料がそれぞれの“感覚”の部分になってくると、場合によっては批判する側が、まさかの批判される側になってしまうことも十分にあり得るわけですから非常に複雑です。裁判でも“そっちが負けたの？”と思うものがあるように、そもそも“答えのない問題”なのかもしれません。

日本の男性アイドル界の中でもかなり高い人気を誇っていた彼が、大手芸能事務所を退所して今は YouTube を中心に活躍しています。退所理由の一つとして彼は『アイドルとしての自分を応援して下さった人への申し訳なさ、感謝の気持ちは大いに感じているが、自分は次に進まないといけないから』と語っていました。今でも批判のコメントも数多く寄せられるそうですが、彼がそれで心を痛めることはないと思います。その毅然とした態度の裏には、今は批判的に見てしまっても今後の自分の活躍によって思いを伝え、“また楽しませてみせる！”という自信が伺えます。誰が見てもリスクを感じるような行動を起こし、これまで以上の大活躍をすることで、彼は私たちに人生を賭けて“信念”を見せてくれているのかもしれません。みなさんも、ブレない心を正智深谷高校で育んでいきましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

手越 祐也(てごし ゆうや、1987 年(昭和 62 年)11 月 11 日 -)は、日本の男性歌手、俳優、タレント、YouTuber である。神奈川県横浜市出身。早稲田大学人間科学部(通信教育課程)中退。2002 年 12 月にジャニーズ事務所に入所。所属中は NEWS とテゴマスのメンバーとして活動し、2020 年 6 月に退所した。以降は個人事務所で活動する。(Wikipedia 参照)